

図書だより

2月

今月の目標

じっくり最後まで読み通そう

令和8年2月号



思いやりの本



今月の人権の日のテーマは「思いやりの心」です。

「思いやり」とは、相手の立場や気持ちを考え、気づかたり、相手に元気がないときにはげましたり、困っている時に助けたりする心や行動のことです。「思いやり」がテーマの図書を紹介します。



『みんなのきもちがわかるかな？おもいやりの絵本』

WILL こども知育研究所/編著
すみもとなおみ/絵
金の星社

目には見えないおもいやり。この絵本では、「かぞく」「友達」「みんな」の3つに分けて、いろいろな人のかかわりや、どんなときに、どんな心の動きがあるのかをわかりやすく教えてくれます。



『どうぞのいす』

香山美子/作
柿本幸造/絵
ひさかたチャイルド

うさぎさんがつくった「どうぞのいす」。あるひ、ろばさんがどんぐりのはいったかごをおいておひるねをしているうちに、つぎつぎといろんなどうぶつがやってきて…



『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル/作
三木卓/訳 文化出版局

ちょっとわがままながまくんと、きもちがとてもおらかなかえるくん。ふたりはとてもなかよし。あるひボタンをなくしたがまくん。かえるくんがいっしょにさがしてくれますが、どれもがまくんのボタンではなく…おこっついでにかえると…



『ふわふわことばで なかよくなるほん』

横山洋子/監修
moco/絵 Gakken

あいてがよろこぶふわふわことばをつかうと、じぶんまでこころがほかほかしてきます。このほんで、シナモンやクロミたちといっしょに、ふわふわことばをつかってみよう！



『だいたいぶ だいたいぶ』

いとうひろし/作・絵
講談社

ちいさかったぼくが、ふあんなきもちになったとき、おじいちゃんは、ぼくのををにぎり「だいたいぶだいたいぶ」といってくれました。おおきくなったぼくは、おじいちゃんになんどもくりかえし「だいたいぶだよ」といいます。



『心ってどこに あるのでしょうか？』

こんのひとみ/作
いもとようこ/絵 金の星社

こころ 心って いったい どこに あるのでしょうか？
すきなひとにあうと、まっかになるほっぺかな？
ときどきするむねかな？わたしやぼく、どうぶつ
たちがみんなでかんがえます。かたちはみえない
心。あなたはどこにあるとおもいますか？



『ええところ』

くすのきしげのり/作
ふるしょうようこ/絵
Gakken

じぶんには「ええところ」が、ひとつもないとおもっているあいちゃん。あるひ、しんゆうのともちゃんに「わたしのええところおしえて！」といってみました。ええとことをおしえてもらったあいちゃんは、すてきなことにきづきます。



『ともだちから ともだちへ』

アンソニー・フランス/作
ティファニー・ビーク/絵
理論社

とてもいいてんきなのに、かおもあらず、パジャマをきたまんま、ためいきをついているクマネズミくんのもとに、あるひすてきなおてがみがとどきますが、だれからのおてがみかわかりません。さしだしにんをさがしにくと…



『「お手伝いしましょうか？」 うれしかった、そのひとこと』

高橋うらら/文
深蔵/絵 講談社

しょう 障がいのある人やお年寄り、赤ちゃんを連れて
ひと で あ 人と出会うことがあります。お手伝いをしたくて
も、どうしたらいいのかわからずためらってしまう
ことがあります。声のかけ方や手伝い方を学び
ながら、その人の事情や気持ちに寄りそい考
えてみましょう。



『いっしょにアムベ！』

高森美由紀/作
ミロコマチコ/絵/
フレーベル館

ひねくれた性格でクラスでも浮き気味のノボルの
家に、大震災で孤児となり日常が変わってしまった
有田が暮らすことになった。デジカメを片時も
はなさない有田の心の傷に気付いたノボルと、ノ
ボルの心の悲しみに気づいた有田の物語。「アム
ベ」は南部(東北地方の一部)弁だそうです。

今年度の図書の貸し出しは 3月2日(月)までです。3月3日(火)からは返却と館内利用のみとなります。